

洋書輸入協会会報

VOL. 23

NO. 8

(通巻268号) 1989年8月

理事会報告

6月26日(月)

(一) 5月分収支計算・予算対比表

6月15日の総務委員会での審査にもとづく松井幸雄氏(丸善)の報告を承認した。

(二) 委員会再編

会員に対する委員会についてのアンケートの経過報告があったのち、理事会社の副委員長を互選により決定した。

総務 紀伊國屋 会報 紀伊國屋 渉外 丸善
広報 洋販 事業 国際 ディレクトリー ユ
サコ 経営研究 日貿 文化厚生 洋販

(三) F.フォーレイ「日本における英語の学術出版の市場」(オーストラリアー・ジャパン リサーチセンター刊)

上記について山川隆司氏(ユサコ)から報告があり、著者から共同出版の申出であるので、その可能性について検討することとなった。

(四) 事務局

すべての土曜日を休日にする事となった。

(五) その他

7月10日(月)

(一) 6月分収支計算・予算対比表

7月7日の総務委員会での審査にもとづく松井幸雄氏の報告を承認した。

(二) 委員会

アンケートの回答をもとに調整審議して決定した。

(JBIA No.573 参照) 副委員長各一名を各委員会で互選することとした。

(三) F.フォーレイ氏の著書

共同出版は断わる事となった。

(四) 検討課題

新入会員の入会をはかつてはとの意見がでたが、単に会員数の増加をはかるのではなく、協会の全体利益を最優先とし、協会財政の収支バランスのみに視点を置くことは結束を損う恐れがあるので、今後の検討課題とすることにした。

(五) その他

理事会報告..... 1	流通シリーズ	文化厚生委員会だより
洋書輸入協会史(44)2	第4回 ISAL 5	第22回箱根囲碁会..... 6
東京税関東京外郵出張所の	お知らせ..... 5	第21回麻雀大会..... 7
人事異動について..... 4	海外ニュース..... 6	広 告..... 8

洋書輸入協会史 (44)

洋書輸入協会顧問 相良廣明

52 A. C. S. 個人会員の Chemical Abstracts

予約特価購読料の件

52.1 Chemi. Ab. 日本の個人会員購読者への送本を停止する

昭和32 (1957) 年2月7日付、海輸第3号で、同業会は次のような通知を出している。これが、同年5月までの4ヵ月間、日本の化学関係者をゆるがした Chemi. Ab. 予約特価問題の始まりである。

記

American Chemical Society 会員
に対する Chemical Abstracts

1957 Renewal の件

右 A. C. S. の件につきましては、本年度の送本が停止されておりまして、これについて日本化学会の東大理学部島内助教授が、2月13日の懇談会に出席下され、これの解決について業者と懇談の御希望がありますので、同誌予約御取扱いの向は、萬障御繰り合わせ御出席願います。(以上)

2月13日の同業会懇談会には、主な Chemi. Ab. 取扱店及びオブザーバー16社が参集、島内助教授の説明を聞き、更に2月18日は理事が日本化学会へ赴いて懇談、2月25日にも理事会を開いて対策を検討している。

2月13日に参集した取扱店は次の通り。

アカデミア図書	三洋出版貿易
旭屋書店	タットル商会
海外出版貿易	ユーエス・エシアティック
紀伊國屋書店	他に1社、計13社
北尾書店新社	
國際書房	オブザーバー
丸善	梅田書房
南江堂	日本洋書販売配給
日本出版貿易	福本書院

52.2 Chemi. Ab. 発送停止の理由

この問題は、American Chemical Society の、Chemi.

Ab. 購読料の仕組みそのものが深くかかわっている。

即ち、1956年度の Chemi. Ab. の年間購読料は、個人会員20ドル、教育機関80ドル、その他の団体が350ドル (1956年より大幅値上げ——後述) と、三通りの価格となっていた。これはひとえに個人会員の研究の便宜のために設けられた制度である。

その他の団体分の大幅値上げにもかかわらず、同年度の米国の新規の個人会員の増加は、前年度の10%以下であり、日本以外の世界各国でも、多くて50名程度の増加にとどまっている。

ところが、日本の場合の同年度の新規個人会員は、前年比452%の激増を示し、新旧個人会員計で702部となっている。これと反対に、個人会員以外の購入が、年間928部であったもののうち、814部までが解約され、114部のみが残っている有様である。

これでは A. C. S. の経営が成り立たない。そこで A. C. S. は、止むを得ず今年度分の Chemi. Ab. の日本の個人会員への発送を、一時停止する措置を取ったという次第であった。

以上が送本停止の理由である。

52.3 日本化学会の対応

日本化学会は、A. C. S. よりの「会員割引制度の意味が日本の会員に不徹底であったことによるのではないか」という申し入れを受けとめ、この趣旨を我が国の関係者に徹底すべく行動を起している。

即ち、2月下旬には、A. C. S. より送られた名簿に基づき、個人会員に対し、会長名をもって、購入の Chemi. Ab. が、所属機関の一般使用に供される目的のものであれば、A. C. S. の困惑と日本の会員全体についての影響を考慮の上、一応解約して貰いたいと要望している。

そしてまた、雑誌輸入業者を通じて購入している場合は、近日中に業者が同趣旨で訪問するから、協力して頂きたいと述べられている。

52.4 問題発生の原因

一見不可思議な A. C. S. 個人会員の激増、団体会員の激減という現象が、どうして日本だけで起きたのであろうか。

第一の原因は、Chemi. Ab. の団体購読価格が、1955年 \$62.70であったものが、1956年に一挙に\$350 (5.6倍) に大幅値上されたにもかかわらず、個人会員購読分は\$20にとどまり、その差があまりにも大きすぎたためである。

第二の原因は、敗戦後12年を経過し、神武景気 (1954年11月～1957年6月) を迎えたとはいえ、当時の日本の官庁、学校、会社などの図書予算が大変貧弱であったこと。値上がりした\$350は、当時のカタログ価格で¥147,000であり、他の雑誌、他の物価に比較すると極端な高価格であって、手が出ないという感じがあったこと。

第三は、このような価格の仕組みは日本になく、この制度の理解が一般に乏しかったこと。

このようなことから、団体に属する個人が個人会員となり、その名義で団体分を\$20で購入し、皆がこれを利用するという方法へ、なだれ現象を起したものであろう。

これらのことの下地には、敗戦後の日本の貧乏さ、にも拘わらず極めて旺盛な研究意欲、更には所属する団体のために、廉価購入法を熱心に探り、図書費の節約に懸命の努力をする図書係りの存在がある。また同様に自分の名義を用いて会員となり、個人用を一般用に供することを辞さない研究者の犠牲的精神も作用している。そしてこれの取扱業者は、得意先の意向を受け、何かとサービスを提供したものであろう。こうして次々と、団体購入から個人会員への購入の切り替えが進行したのであろう。

恐らく米国側としては、このような日本の現象は、理解に苦しむことであったに違いない。

52.5 同業会より日本化学会への申し入れ

3月に入ってもなお、Chemi. Ab. の発送停止は解除されない。関西支部からも「予約者に大変迷惑を及ぼしているので早急に解決して貰いたい」旨の申し入れがあ

り、関係同業者が会合を重ねて協議した。それをまとめて3月25日付で「A. C. S. 会員の取扱いについて業者としての要望書」を日本化学会へ提出している。その要点を列挙すると次の通り。

(1) 本問題は、A. C. S. から我々業者が直接交渉を受けたものではないが、我々業者を除外してこの事態の解決を計ることは困難であると思われる。現に多数の予約者より照会を受けつつある。

(2) よって同業会としても、化学会の方針に協力する態度を定め、早期解決のための対策を提出する。即ち、会員の自主的判断にまつのみでは解決が遷延するであろうから、例えば1956年度と1957年度に新たに A. C. S. に個人会員として入会された方には、一応全部 Chemi. Ab. の購入を辞退して頂くよう要請するなどの方法を取ればいかがであろうか。

(3) 貴学会から、A. C. S. に対し、このような現象が起きた日本の実情、即ち Chemi. Ab. の大変な大幅値上げと、これに対応出来ない日本側の貧弱な図書予算とをよく説明して欲しい。

(4) 今後の A. C. S. への個人会員加入申込みと Chemi. Ab. の購入に関しては、公正を期する上において公的な機関を設けて資格審査を行うこと。例えば日本化学会において審議するなどを実施すればいかがであろうか。

52.6 同業会からの要望書に対する日本化学会よりの回答

ほどなく、日本化学会から回答が寄せられた。要点のみを記してみると、

(1) 1956年の新規個人会員は、原則として Chemi. Ab. を辞退することとする。この辞退の状況は、毎月末、日本化学会より A. C. S. へ連絡する。

(2) 辞退の状況把握のため、関係洋書輸入業者は、とりあえず4月末現在の辞退の実数を日本化学会へ報告された。

なお、4月末現在の辞退の数が少ない場合には、次の処置を考慮する。

(3) 1957年の新規個人会員による Chemi. Ab. の購入申込者についても同様の処置をとる。

既に A. C. S. へ昨年 8 月に申し入れ済である。

(4) 1955 年以前に A. C. S. の個人会員となり、Chemi. Ab. を購読しているものは、その資格を認めるよう A. C. S. へ申し入れる。

(6) 公的審査機関の設置は、考慮されることになるもの
と考える。

そして、事態はこの日本化学会の方針にそい進展する
かに思われたが、またまた別の事情が発生した。

(5) A. C. S. の個人会員の Chemi. Ab. 購入価と、団体購
入価の大幅な開き、及び日本の図書費の貧困については、

(続く)

東京税関東京外郵出張所の人事異動について

平成元年 7 月 1 日付にて、東京税関東京外郵出張所の人事異動が行われました。現在、所長以下担当係官及び事務
分担は以下の通りになっています。

所長 森田 実	次長 青地 栄	総務課	出張所の事務の総合的企画及び運営。
		課 長 鈴木日出男	
		輸出通関部門	輸出郵便物の通関事務。
		統括審査官 坂口敏朗	戻し税又は還付金関係事務。
		輸入統括部門	外為法関係事務。証明書交付事務。
		統括審査官 田中正典	輸入通関事務の調整。評価関係事務。
		特別審査官	収納、還付金関係事務。
		本多保栄	無体財産権及びワシントン条約関係事務。
		受理審査部門	特惠管理及び税表分類。
		統括審査官 長久俊樹	外為法関係事務。
		海上輸入通関第 1 部門	輸入郵便物の受付事務。
		統括審査官 小暮文弥	保税運送の承認。証明書交付事務。
		海上輸入通関第 2 部門	ブック通関事務。
		統括審査官 松沢 襄	海上輸入郵便物の通関事務。
		海上輸入通関第 3 部門	同上
		統括審査官 長岡義則	同上
		海上輸入通関第 4 部門	同上
		統括審査官 森川良紀	同上
		航空輸入通関第 1 部門	航空輸入郵便物の通関事務
		統括審査官 本田三郎	同上
		航空輸入通関第 2 部門	同上
		統括審査官 尾形輝男	同上
		航空輸入通関第 3 部門	同上
		統括審査官 伊藤徹夫	同上
		航空輸入通関第 4 部門	同上
		統括審査官 山口順彦	同上
		税関相談官	通関相談。苦情処理。
		岡 弘	通関指導と税関業務の広報関連事務。
		中村正敏	

(第4回) ISAL (International Surface Air Lift)

ISALは米国から、米国・カナダ以外の国へ印刷物を早く、安くまとめて送るシステムで、欧州のSALとはほぼ同じシステムです。

ISALが早いのは、船便でなく航空便だからであり、料金が安いのは、発送の手続きや役務の一部を利用者が負担する為であり、更に一通毎の郵便料金でなく、トータルの重量に対しての料金が適用されるからです。

ISALを利用して郵送できるものは、通常の郵便で印刷物として送ることのできる物です。つまり宣伝文書、カタログ、ダイレクトリー、書籍、雑誌、新聞、楽譜等です。これらの印刷物は必ず封筒に入れるか帯封をし、宛先と発送人の名前、住所を記入します。宛先はP. O. Box (私書箱) でも構いません。そして封筒又は帯封に、その内容により“PRINTED MATTER” “PRINTED MATTER—DIRECTORIES” “PRINTED MATTER—BOOKS”などを表記しなければなりません。一通毎の重量や大きさの制約、内容物の表記などについては、通常の外国郵便物と同じきまりが適用されますが、一回の発送のトータルの最低重量は50ポンド＝約22.7キロです。ハガキのような一枚ものや、料金払込済の返信用ハガキ又は封筒を、ISALとして送ることはできません。

ISALを利用するには、まず地元の郵便局で登録ナンバーを取得し、一定の保証金を支払うことから始まります。ISAL利用の資格が得られ、ISALを使って郵送するには、次の手順をふむ必要があります。

- 1) 郵便物を宛先国別に分けて、郵袋に入れる。(この郵袋は郵便局にあります。)
- 2) 重量を計り、郵袋にタグを付ける。(一つの袋は66ポンド＝30キロ以下。)
- 3) 郵便局に連絡し、料金を払い支払証明書をもらう。
- 4) 郵便局から指定された場所 (主要35都市の空港又はニューヨークのJFK空港) へ支払証明書を添えて郵便物を持ち込む。
(もし一回の発送量が750ポンド＝約340キロを越えるときは、少なくとも4日前に郵便局に連絡し、持ち込み場所と時間の指示を得る必要があります。)

こうしてニューヨークのJFK空港以外の空港へ届けた郵便物は、その空港よりJFK空港へ航空貨物として送られ、更にJFK空港より郵便物の宛先の国へ航空貨物として送られます。受け取った国の郵便局は、その郵袋を開け、通常の郵便物として受取人へ配達します。米国から殆どどの国に対し、この方法で送ることができ、発送から到着までの所要日数は、国によって異なりますが7日から14日です。

定期的に印刷物、書籍又は雑誌をまとめて一カ所に送付する場合は、M-Bag Serviceと云って通常のISAL料金の二割引きになります。料金はこの他に、持込み先がJFK空港か、他の都市の空港か (Full Service) によっても異なります。つまりこれらの組み合わせにより四種の料金体系があり、更に送付先国によっても料金が異なります。

日本宛の場合の料金は、1ポンド当り次の通りです。

(1989年4月現在)

JFK空港に持ち込んだ場合

通常 \$3.60 M-Bag Service \$2.88

JFK空港以外の空港に持ち込んだ場合 (Full Service)

通常 \$3.90 M-Bag Service \$3.12

(丸善(株) 尾内記)

お知らせ

ロングマン・ペンギン・ジャパン株式会社は、社内業務の拡張ならびに日本フィルム・スキャン社(リンガル・ハウス)との合併に伴い、7月24日(月)下記へ移転しました。

〒112 東京都文京区関口1-13-19 玉露園ビル

電話 03-266-1141

直通 総務/学術書全般 03-266-0459

ロングマン英語教育事業部

03-266-0404

ペンギン・レディバード事業部

03-266-0465

ファックス 03-266-0326

ロングマン、ペンギン等の出版会社の親会社である、ピアソンplc.は、この度東京に新しく日本法人の子会社ピアソン株式会社を設立した。ピアソンはロンドン証券取引所に上場されており、出版・娯楽をはじめ各種の事業会社の株式を保有している。

出版関連の主たるもの：ファイナンシャル・タイムズ、ペンギン、ロングマン、アディソン・ウェスリーその他。

なお、ピアソン本社の役員を勤めたクリストファー・ベン氏がピアソン株式会社の社長として東京に赴任した。

お問合せ先：

ピアソン株式会社 クリストファー・ベン
(03-211-1331)

デュー・ロジャーソン 松井 (03-438-1781)

海外ニュース

「ランダムがハッチンソンを買収」

アメリカの大出版社Random Houseがイギリスの大手Century Hutchinsonを買収した。ランダム・ハウスはすでにイギリスの名だたる文芸出版社三社、すなわちChatto & Windus, Jonathan Cape, Bodley Headを手中に収めているから、こんどの買収によって一般書の分野ではイギリス最大の山版社となった。

その買収金額は6,400万ポンドと発表されているが、この額はセンチュリー・ハッチンソン社の年間売上高の約1.5倍、課税前利益額の27.2倍に相当する。この金額は非常に高いようだが、こゝ2、3年の買収例と比較すればさほどではない。ちなみに、ABPは税引前利益額の25.9倍の金額でインタナショナル・トムソンに、オクトパスは20.6倍でリードに、マクミランは22.4倍でマックスウェルに、ハーバー・アンド・ロウは26.3倍でニューズ・コーポレーションに買われている。

この合併によってできた新社の会長には、前ハッチンソン社のマネージング・ディレクター、アンソニー・チータム氏が、マネージング・ディレクターにはランダム・ハウス社国際部の副社長サイモン・マスター氏が就任した。

(The Bookseller 6月9日号他より)

「タイム社買収騒動」

Time Inc.とWarner Communicationsが合併して、世界一の情報メディア・コングロマリットを形成するという話は、既報の通り順調に進んでいた。これに水をさしたのがワーナー社の競争相手のParamount Communicationsである。パラマウント社は1株当たり175ドル、総額107億ドルを提示してTOBを開始し、タイム、ワーナー、パラマウントの文字通り三つ巴の乗っ取り合戦が展開されることになった。

さらにこれに、ハーバーやコリンズの乗っ取りで名を馳せたルパート・マードックが率いるNews Corporationが介入の気配を見せている。まさに今世紀最大の買収劇が展開されそうである。

(Financial Times 6月15日号他より)

—(株) 紀伊國屋書店提供—

文化厚生委員会だより

第22回箱根囲碁会

7月8～9日と協会の研修旅行をおこなった。今年で22回目の歴史ある会で、思い出も数かぎりないが中でも、今日のマスコミで活躍中の名人、本因坊と呼ばれるスター棋士の幾たりかは、かつて当研修旅行に参加し、指導してくれたことは、今も先輩会員の誇りとするところである。

さて、長い間世話になった大平台の宿「桜溪荘。から湯本の「ますとみ旅館。へ泊るようになって今回で2年目となる。当館は湯本駅から歩いて5分ほどで、せっかくの箱根もあまりの近さでもの足りないくらいだ。そんな会員諸氏の気持を察してか、途中の早川の土手には紫陽花の花が我々の目を楽しませてくれた。

囲碁より釣の腕前が上達したと自認する楯(テクニコン)、前橋(中央洋書)の両氏は、我々とは別行動で宿へ行くことになった。

「夕食には鮎をご馳走するから」との約束であった。宿の夕食に鮎が重複してもつまらないのでくれぐれもおかみさんに念をおす。

やがて、我々よりおくれること一時間ほどして、両

太公望の到着となった。しかし、鮎の姿はついに見られなかった。

夕食をはさんで、囲碁対抗戦は深夜すぎまで熱戦がつづけられた。今回はA、Bのブロックに別れて行ない、結果は下記の通り。

Aブロック：優勝 渡辺正廣（洋販）

2位 楯（テクニコン）

3位 荒木

Bブロック：優勝 内藤（極東書店）

2位 前橋（中央洋書）

3位 和田（日ソ図書）

（三洋 中岳記）

第21回麻雀大会

7月14日、洋書輸入協会恒例の麻雀大会が神保町ボニーで華々しく開催されました。幹事諸兄のご尽力により、酒、ビール飲み放題、上寿司つき、全員に参加賞ありと至れり尽せり、これで会費がなければ毎日でも良いとの声もございました。熱戦二刻余、結果は次の通りでございます。

優勝 武田氏（三洋出版）

二位 和田氏（日ソ図書）

三位 近藤氏（紀伊國屋書店）

ブービー 篠原氏（国際書房）

メーカー（つまりビリ）

堀井氏（ミロブロック）

優勝の武田氏は雀歴十年の古狸、いや古豪、しかし今迄一度も優勝とご縁のなかった方、表彰式でホロリー滴落されたのが感動的でした。仄聞するところによりますと、当日ご帰宅後、最後につもった「白板」にみたてた「冷奴」で夫人と祝杯をあげられ、涙、涙の一夜だったそうでございます。二位の和田氏、三位の近藤氏はいづれも音に聞こえた雀豪、順当な所でございましょう。ブービーの篠原氏、メーカーの堀井氏、両氏の謙譲の美德にも学ぶべき所が多いと感じ入りました。最後にお願いがございます、当大会出場者の高齢化、頭髪の過疎化は目を覆うばかりでございます。次回以降、若き雀鬼（特に若い女性）のご参加を切にお待ち致す次第でございます。（H記）



第21回 洋書まつり '89

洋書輸入協会主催合同セール

と き 1989年10月20日(金)・21日(土)

10:00~18:00

ところ 東京古書会館

千代田区神田小川町3-22 電話 03-293-0161

（国電・お茶の水駅、都営地下鉄新宿線・神保町駅または小川町駅下車）

大改訂、全2巻へ！

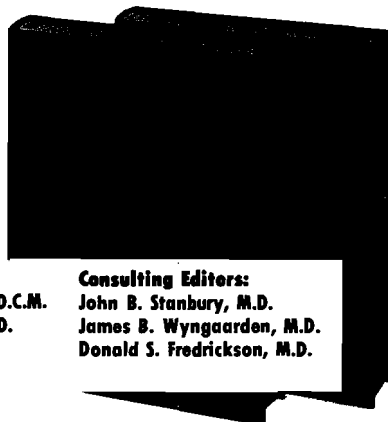
スタンバリーの遺伝性疾患 における代謝的基礎、第6版

THE METABOLIC BASIS OF INHERITED DISEASE

Sixth Edition

Editors:
Charles R. Scriver, M.D.C.M.
Arthur L. Beaudet, M.D.
William S. Sly, M.D.
David Valle, M.D.

Consulting Editors:
John B. Stanbury, M.D.
James B. Wyngaarden, M.D.
Donald S. Fredrickson, M.D.



■本書は、遺伝性疾患の研究に携わる臨床医および基礎研究者にとって、代謝的基礎を理解する上で重要な参考書として広く受け入れられている。今回の第6版は、最新データを基に旧版の内容を改訂するとともに、全く新しい34の章を加えて大幅にボリュームアップしての刊行となった。

■本書は遺伝性疾患について臨床医の立場からのみならず、その生理的異常を遺伝子レベルおよび分子レベルで解説したものである。したがって、生体の生理と代謝を遺伝子レベルで解明しようとしている分子遺伝学、生化学、生理学、分子生物学の基礎研究者、あるいは免疫の分野で分子レベルの研究を進めている研究者にとっては必読の書である。また、新薬の開発に携わる企業の研究者にとっても、アイデア発掘の格好の書といえる。

■第6版は4人の編者のもとに、200人を超える著名な専門家の執筆により最新知見が編纂された。著者の多くは臨床家であるとともに、生化学、遺伝学、生理学等の基礎研究者であり、いずれも遺伝性疾患の分野で世界的な権

威ばかりである。本版では新たに、遺伝子マップ、遺伝子マーカー、腫瘍遺伝子などの章が付け加えられるとともに、ペルオキシソーム関連疾患等、いくつかの疾患についても新しい章が設けられた。

■本書は、分子生物学等の基礎研究者にもアプローチしやすいように構成に工夫が成されている。各章は、糖・アミノ酸・ステロイド等の代謝物質、造血組織・結合組織・ペルオキシソーム疾患、有機酸血症、あるいは膜輸送系・生体防御系等の生体システム等の項目別に構成されている。そして各々のジャンルに当てはまる遺伝性疾患がそれぞれの項で述べられている。各章は個々の疾患について概要、歴史的変遷、発症メカニズムおよび臨床上の診断、治療、予防等に関する解説で構成されている。

■第6版は大幅な更新、加筆により2巻に分けられており、その情報の質・量どちらをとってもこの分野の研究者にとってなくてはならない書になったと言える。



●1989 3,000 pp., 824 illus.
●¥39,900 (消費税抜き)

日本総代理店 **inko** (株)南江堂洋書部 〒113 東京都文京区本郷3-42-6 ☎(03)811-9957

1989年8月 通巻第268号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎271-6901 FAX.271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329